



2014



“よい仕事おこし”フェア

in 東京国際フォーラム 8/5・6



「2014“よい仕事おこし”フェア」事務局

C O N T E N T S

◆ 「2014 “よい仕事おこし”フェア」の概要	2
◆ 1. 8月5日開会式（地下2階展示ホール内特設ステージ）	
● 吉原理事長の代表挨拶・谷復興副大臣はじめ御来賓挨拶	3
● 小泉元首相など皆様からの祝電披露	3
◆ 2. 地下2階展示ホール「ビジネスエリア」、B棟7階ホール「バイヤーエリア」	
● ビジネスエリア	4
● 出展者・来場者からの声	5
● 東北応援・特産品エリア	7
◆ 3. 地下1階ロビーギャラリー	
● 海外進出支援エリア	8
● 子供マジカル・ミステリーツアー&こども豆記者など	8
◆ 4. B棟5階ホール「復興応援ステージ」	
8月5日（火）	
● 宮城県ご当地アイドルみちのく仙台「ORI☆姫隊」ショー	9
● 「フラ ハーラウ ワコ」の皆様によるフラダンスショー ～手をつなごう！アロハの心で～	9
● ひろげよう！東南アジアの輪 ベトナムセミナー、インドネシアセミナー	10
● シンポジウム「福島の現状と願い」	
＜第1部＞映画「放射能 レディオアクティブ」上映	10
＜第2部＞トークプログラム「福島のいま」 井戸川克隆、おしどりマコ&ケン、吉原毅 [聞き役] 船橋淳	10
＜第3部＞ミニライブ 加藤登紀子、佐藤タイジ	11
＜第4部＞トークプログラム「福島への願い」 加藤登紀子、佐藤タイジ、佐藤健太、井戸川克隆、船橋淳、吉原毅 [聞き役] 津田大介	11
8月6日（水）	
● “東北魂”大集合！	12
◎ ポリネシアンダンスショー／スパリゾートハワイアンズ・ダンシングチーム「フラガール」	12
◎ チアリーディング／福島県立光南高等学校「応援団チアリーダー部」	12
◎ 盛岡さんさ踊り／盛岡信用金庫「さんさ踊り同好会」	12
◎ テツandトモさんのステージパフォーマンス	12
◎ 鹿踊り／岩手県立花巻農業高等学校「鹿踊部」	13
◎ 鬼剣舞／岩手県立北上翔南高等学校「鬼剣舞部」	13
● 信ちゃん&ゆるキャラが各所で大活躍！	13
◆ あとがき	

2014 “よい仕事おこし”フェア



in 東京国際フォーラム 8/5・6

去る8月5日(火)、6日(水)に、3度目の“よい仕事おこし”フェアが東京国際フォーラムで開催されました!東北地方全27金庫を含む35信用金庫にご協賛いただき、復興庁をはじめ多くの官公庁・自治体の後援と協力のもとで開催。東京国際フォーラムの地下2階展示ホールに「ビジネスエリア」「東北応援・特産品エリア」「東北飲食店エリア」「社会関連エリア」、地下1階ロビーギャラリーに「東北応援エリア」「海外進出支援エリア」、B棟5階ホールに「復興応援ステージ」、B棟7階ホールに「バイヤーエリア」を設け、今回も多彩な企画を展開しました。また、フェアの展示やイベントの様子はwebで動画配信されました。

当日は、企業・団体など352ブースが出展し、来場者数は2日間で40,764名、商談件数は事前申込2,734件、当日商談6,243件にのびりました。有楽町駅至近の当フェアは東京駅からもアクセスしやすく、丸ノ内のオフィス街を行き来するビジネスマンの目を引き、また、東北特産品の販売や子供マジカル・ミステリーツアー、こども豆記者など、昨年に引き続きご好評いただいて、夏休みの観光客や親子連れのお客様で大変賑わいました。今年も、企業と企業、人と人を結び、数多くの“新しい出会いを創造する場”となりました!!

「2014 “よい仕事おこし”フェア」の概要

開催日時	平成26年8月5日(火)10:00～18:00 8月6日(水)10:00～16:00 (平成26年8月4日(月)18:00～21:00(内覧会))
会場	東京国際フォーラム(地下2階展示ホール/地下1階ロビーギャラリー/ホールB5/ホールB7)
協賛	会津信用金庫、青い森信用金庫、秋田信用金庫、あぶくま信用金庫、石巻信用金庫、一関信用金庫、羽後信用金庫、大阪シティ信用金庫、岡崎信用金庫、北上信用金庫、岐阜信用金庫、京都信用金庫、京都中央信用金庫、気仙沼信用金庫、郡山信用金庫、埼玉縣信用金庫、白河信用金庫、新庄信用金庫、須賀川信用金庫、仙南信用金庫、鶴岡信用金庫、東奥信用金庫、二本松信用金庫、花巻信用金庫、浜松信用金庫、ひまわり信用金庫、広島信用金庫、福島信用金庫、水沢信用金庫、宮城第一信用金庫、宮古信用金庫、盛岡信用金庫、杜の都信用金庫、山形信用金庫、米沢信用金庫(以上35信用金庫)
後援	復興庁、経済産業省関東経済産業局、経済産業省東北経済産業局、東京都、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、杉並区、中野区、川崎市、横浜市、相模原市、南相馬市、宮古市、東松島市、石巻市、気仙沼市、いわき市、中小企業基盤整備機構関東本部、東京商工会議所、全国信用金庫協会、東京都信用金庫協会、東北地区信用金庫協会、信金中央金庫
協力	RHトラベラー株式会社、一神商事株式会社、株式会社エービーシー商会、株式会社近畿日本ツーリスト商事、グランドプリンスホテル高輪、株式会社ぐるなび、グローリー株式会社、航空食品株式会社、株式会社三香園商店卸部、三昌商事株式会社、株式会社三洋堂、株式会社JR東日本リテールネット、株式会社JTB商事、株式会社JALUXエアポート、株式会社ダイエースペースクリエイト、株式会社大地を守る会、株式会社高島屋、タカセ株式会社、株式会社東急百貨店、東和電気株式会社、トキワイエーエム株式会社、株式会社ドン・キホーテ、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会、株式会社ファミリーマート、フードマーケットエコ・ピア、富士通コワーコ株式会社、ベニースーパー、株式会社三越伊勢丹、株式会社三越伊勢丹ギフト・ソリューションズ、株式会社三越伊勢丹フードサービス、株式会社大和、ヤマトホームコンビニエンス株式会社、ユアサ商事株式会社、株式会社ユニリビング、株式会社47CLUB、楽天株式会社、株式会社ローソン、ローレルバンクマシン株式会社
場内	出展小間352ブース ● ビジネスエリア(198ブース) ①機械、金属、電子 製造48ブース ②加工技術39ブース ③印刷・その他製造25ブース ④IT・情報通信20ブース ⑤健康・医療・福祉12ブース ⑥建設・土木26ブース ⑦その他28ブース ● 社会関連エリア(29ブース) ①行政関連8ブース ②学校関連6ブース ③その他団体等15ブース ● 東北応援エリア(11ブース) ● 海外進出支援エリア(19ブース) ● 東北応援・特産品販売エリア(47ブース) ● 東北応援・飲食店エリア(10ブース) ● バイヤーエリア(38ブース) イベントステージ(開会式、出展者PR等) 特別展示4ヵ所(経済産業省関東経済産業局、信金発!地域発見フェア、河北新報社東日本大震災復興の記録と今・・・、東日本大震災被災地支援)
当日来場者数	40,764名(5日:21,813名、6日:18,951名)
当日商談件数	6,243件(事前商談申込件数:2,734件)
スタッフ	OB・アルバイト:93名
出展者サポーター	272名
その他スタッフ	138名

1. 8月5日開会式（地下2階展示ホール内特設ステージ）



吉原理事長



谷復興副大臣



村田福島県副知事



安藤経済産業省関東経済産業局長



● 吉原理事長の代表挨拶・谷復興副大臣はじめ御来賓挨拶

9時30分から地下2階展示ホール中央の特設ステージで行われた開会式には、谷公一復興副大臣ほか来賓2名が登壇。当金庫吉原毅理事長の挨拶に続いて、来賓を代表して谷復興副大臣、佐藤雄平福島県知事（代読：村田文雄副知事）、安藤久佳経済産業省関東経済産業局長からご挨拶をいただきました。

吉原理事長は、挨拶の中で「昨年から東京国際フォーラムに場所を移しました当フェアは、第3回となる今年も『日本を明るく元気に!』『みんなの東北、みんなでの復興!』をテーマに開催いたします。東日本大震災から3年、まだ道半ばである復興に引き換え、風化のスピードは加速しているように思われます。原発問題も収束していない中、東京や首都圏に住み、働く私たちにとって“ふるさと”である東北のために、一体とならなければなりません。では、“よい仕事”とはどんなものなのか。企業は何のためにあるのか。売上のためではなく、消費者のため、世のため人のため社会に貢献するためです。巨大なリスクと次世代へのツケを負った全国の原発、これが“よい仕事”と言えるか私たちは甚だ疑問に思っています。自然エネルギービジネスの先進国であるアメリカやドイツでは、活発な技術開発が地方へ波及し地域経済を活性化させています。日本の水素エネルギー関連技

術も、ものづくり大国として世界をリードする最先端レベルです。里山資本主義という考え方にもある通り、これは地域再生、企業活躍のチャンスです。これからも、“志”ある中小企業と全国の信用金庫の皆様と手を携えながら、“よい仕事おこし”に取り組んでいきたい」と、フェアの意義を改めて強調しました。

谷復興副大臣からは、神戸で被災されたご自身の経験も踏まえ「一口に“復興”といっても、何点つけられる復興を遂げられるか、政権の実力が試されていると思います。最も難しい産業の復興に関しては、“民”の力がなくては成立しません。当初から出展料をいただいているというこのフェア、城南さんをはじめ関係者の皆様の気概に感服いたしました。ぜひ、継続してお力をお貸しいただきたい」という共感・激励の言葉をいただき、また、佐藤福島県知事の「震災から間もなく3年半、避難生活や風評被害が続く中も、毎年のご支援で大河ドラマ『八重の桜』や今年4～6月に大規模な観光キャンペーンを展開したり、明るい話題も増えてまいりました。『ふくしまからはじめよう』を合言葉に、今回参加した25の企業、団体から、福島の活力をお届けしたい」と、力強い希望に満ちたメッセージも紹介されました。

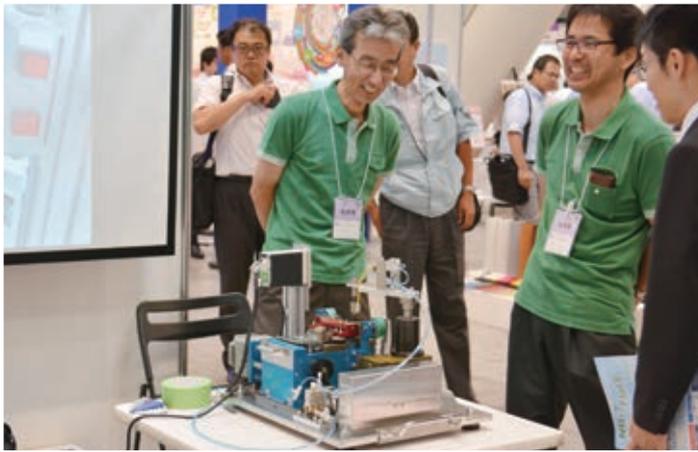
● 小泉元首相など皆様からの祝電披露

さらに、小泉純一郎元首相（城南総合研究所名誉所長）よりいただいた「自然エネルギーこそ飛躍への力!脱原発をめざして頑張りましょう」という祝電が披露されたほか、全国信用金庫協会大前孝治会長、信金中央金庫田邊光雄理事長、東京都信用金庫協会佐藤浩二会長、東京商工会議所三村明夫会頭、

東北地区信用金庫協会佐藤利久会長、松平健様、コロツケ様、里中満智子様、石塚英彦様をはじめ、多くの皆様からお祝いの言葉を頂戴していることが紹介されました。最後に、来賓の方々等4名によるテープカットのセレモニーが行われました。

2. 地下2階展示ホール「ビジネスエリア」、B棟7階ホール「バイヤーエリア」

ビジネスエリア



● 多数の商談が成立! 企業と企業の“新たな出会い”で活気にあふれました

当日の会場では、B棟7階のバイヤーエリアを含めて、数多くの商談が行われました。展示ホール内特設ステージでは各企業がプレゼンを行い、来場者に自社製品の特色について積極的にPRしていました。

出展者・来場者からの声

●出展者 A社 (建設・土木)

今回出展した商材(工法)は特殊であったため、見学者は少ないと予想していましたが、運輸大手と取引があるという専門の見学者の方からよいお話をいただき、弊社の工法を今後運輸大手に薦めてくださることになりました。信用金庫の担当者の方もお客様に一生懸命説明してくださって、フェア出展の効果は「大」でした。

諸々お手伝いいただき、本当に感謝しています。

●出展者 B社 (印刷・その他製造)

一般的なフェアであれば会社の規模に左右されるブースの大きさが均一であり、大手バイヤーとの商談が可能になりました。“信用金庫”という信頼に助けられたと実感しました。ホテルや高級店とのお取引の可能性を探ることができ、また、異業種の皆様との出会いで、ものづくりの楽しさ、意欲が増し、前向きな発想に近づくことができました。

●出展者 C社 (印刷・その他製造)

ディスプレイをつくってほしいとのお申し出を数件頂戴し、アクリル部分が苦手という会社とも今後お付き合いさせていただくことになりました。このフェアでたくさんの出会いがあり、頭も柔らかくさせていただきました。感謝の思いでいっぱいです。

本当にありがとうございました。

●出展者 D社 (その他)

今回初めて出展させていただきましたが、異業種の方々と出会えたことで新たな企画やビジネスにつながりそうなヒントがたくさん見つかりました。復興応援ステージで行われた「福島の実状と願い」シンポジウムは2日目にも開催していただきかったです。東北支援に取り組む姿勢が本当に素晴らしいです。来年もぜひ参加させていただきたいイベントでした。

ご担当の方をはじめ、スタッフすべての方々の心強いサポートに、心より感謝申し上げます。

●出展者 E社 (建設・土木)

今回のフェアでは、同業者間のイベントでは出会えない多くの機会を得ることができました。プレゼンテーション、セミナー、子ども向けイベントなどさまざまな催事に参加させてい



ステージで自社のプレゼンを行う出展者



ただき、大変興味深く意義ある出展となりました。

住宅など建設関係の会社と協同することで、ビジネスの可能性が広がり、お互いに助け合える関係が構築できそうだと思います。積極的に情報発信すると、色々な人々との話の場が生まれて、新しいアイデアが浮かんでくるので、とても刺激的でした。

サポーターの方も含め、大変お世話になりました。ありがとうございました。

●出展者 F社 (東北応援・特産品)

フェア開催期間中の東京は、この夏一番の猛暑だったにもかかわらず、暑い時期の販売は苦戦する冷凍商品のたらこ明太子がこんなにもたくさん販売できましたことは、ひとえに販売促進のための強力なお声掛けのおかげです。

さらに嬉しいことに、帰社した当日だけでも、会場でお配りしたチラシでのご注文を数件頂戴しています。本当にありがとうございます。このような機会をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

また機会がありましたら、ご一緒に“よい仕事”をさせていただきたいと願っています。これからもどうぞよろしく願います。

2. 地下2階展示ホール「ビジネスエリア」、B棟7階ホール「バイヤーエリア」

- G社より、自社製品の子会社展開を前向きに検討してもらっている。
- H社の商品開発事業部の方と9月に商談が決定しています。弊社商品のPBをご希望です。
- 探していた建材が見つかった。異業種、特に海外の窓口の方と知り合いになれた。
- 地場企業と数多く商談することができるので、次のステップに行きやすいと感じた。
- 興味のある中国企業と挨拶・名刺交換できました。
- Iホテルでのイベント出展について前向きな商談ができた。
- Jホテルから別途商談の機会をいただいた。
- オリジナルのPETボトル作成に重点を置いて展示したが、来場者からはノベルティーグッズとして使いたいという要望が多かった。弊社の狙いとはまた違った反響となり、出展する意義を感じた。
- 和風建築について価値観の合う方々にお会いでき、後日発注していただく約束も得られた。弊社のよさを理解してもらえる貴重な場だった。
- なかなか自社PR活動ができていなかった現状から、試作品を展示してみたり一歩前に進むことができました。今後もこのような広報活動を続けていく、よい機会がつかれました。
- 大田区では訪問介護事業所が増えていること、今回PRした訪問介護アプリが活用できそうなことなど、業界動向がよく把握できた。
- 全くルートがなかった、バーレーン大使館と成約できました。海外（特に東南アジア）への展望が開けたことは有意義でした。
- 商談も大事だが、消費者と対話できたことが大きい。今後の製品開発に結びつけたい。
- 事前の商談申込で具体的に商談を進めることができ、効率的でよかったです。
- 大変大規模なイベントで驚きました。普段接点のない異業種にアプローチしたり、富士通、近畿日本ツーリストなど大手バイヤーさんと商談させていただく機会を得て、自己啓発にもなりました。
- 主催者側のサポート体制、各信金の皆様の熱心なご対応が素晴らしく、イベントへの意気込みが伝わりました。今回受けた商談等を必ず形にしたいと思います。ありがとうございました。
- 大学での一般社団法人の講座を導入する機会を検討してもらえるなど、異業種の方とビジネスの方向性を探ることができた。
- 来場者はミドル・シニア世代が多く、この世代にターゲットを絞った出展をすれば面白いと思う。次回もぜひ出展したい。
- 次回の商談アポが2件、事業内容を説明し、事業コラボの可能性を見出せた先が3件あり、効率よく新規開拓できました。
- 復興支援を兼ねた珍しいスタイルでよかったと思います。



東北応援・特産品エリア



「東北応援・特産品エリア」では、商談のために立ち寄ったビジネスマンはもちろん、夏休みということもあり、親子連れが東北の特産品販売に列をつくったり、「東北飲食店エリア」の休憩スペースで「なみえ焼そば」などご当地グルメを食べる姿が見られました。外国人観光客も訪れ、大盛況で昼過ぎには売り切れ

の飲食店も！

今回は花巻農業高校の生徒さんが出展して、さんまなど地元の特産品を使った商品をPRし、谷復興副大臣や8月5日復興応援ステージに出演された加藤登紀子さんも試食され、注目を集めていました。



大間まぐる丼



気仙沼ふかひれ姿煮丼



会津ソースカツ丼



八戸せんべい汁



稲庭うどん



仙台牛たん焼き



盛岡冷麺



前沢牛焼き肉丼



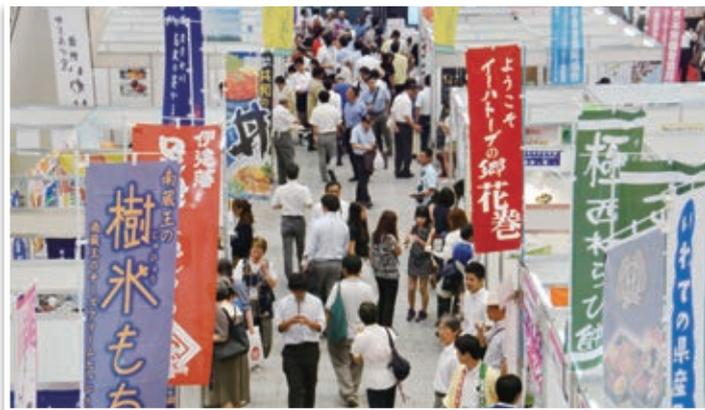
なみえ焼そば



米沢牛コロッケ



花巻農業高校の生徒が地元三陸のさんまから開発した「さんまーぐ」を試食する谷復興副大臣（右）



3. 地下1階ロビーギャラリー

海外進出支援エリア

今回初めて、海外への事業拡大に特化したエリアを設けました。

出展者の方々から「おかげ様で、私ども深圳市のご紹介・PR活動や、関係者とビジネスの商談・交流を行うことができ、大変有意義な2日間でした。これを機に深圳市と日本の産業界との関係づくり、あるいは日中経済交流活動の促進につながれば、と期待しております」



す(深圳市駐日経済貿易代表事務所)、「とてもよいミーティングがたくさんできました。フェアに出展された日本の中小企業

さんの優れた技術などについて、よく勉強できました。今後は、お会いできました企業様と、フォローアップしたいと思っています(バーレーン大使館)など、手応えが伝わってくる前向きなご感想をいただきました。

子供マジカル・ミステリーツアー&こども豆記者など

展示ブースなどを回って出展者に質問したり、クイズやゲームを楽しみながら子どもたちにフェアに親しんでもらう「子供マジカル・ミステリーツアー」は今年も大人気!ゲームに挑戦中も、各社製品の説明に聞き入る表情も、真剣そのものです……。

そんなフェアの様子を取材する「こども豆記者」は、東京新聞のブースで新聞づくりにチャレンジしました。「人に色々な話を聞いたりするのは面白かったけど、記者の仕事は大変なんですね」と率直な感想ももらいました。

※今回も、東京新聞「国際フォーラム特別版」が1日2回発行され、来場者の皆様に配布されました。



東京新聞のブースで新聞づくりの説明を受けるこども記者



場内モニターでは、B棟5階ホール「復興応援ステージ」のライブ中継を行ったり、OurPlanet-TVの協力でフェア各所のレポートや当金庫吉原理事長のコメントなどをリアルタイムに動画配信するなど、当フェアに興味をもっていただけるようなイベントを紹介しました。



OurPlanet-TVのブースでインタビューに応える吉原理事長

4.B棟5階ホール「復興応援ステージ」

B棟5階ホールでは、「復興応援ステージ」と題し、さまざまなイベントが催されました。

両日とも、宮城県から元気を発信するご当地アイドル：みちのく仙台「ORI ☆姫隊」の元気いっぱいのパフォーマンスを皮切りに、8月5日（火）は、東南アジアセミナーなどが行われた後、シンポジウム『福島の現状と願い』において、放射能被害を描いたドキュメンタリー映画の上映や、船橋監督・井戸川前双葉町長らと交えて福島の今を語り合い、加藤登紀子さん&佐藤タイジさんのミニライブを挟みながら、復興を支援する取り組みを続ける皆様の変わらぬ願いを再確認してイベントを締めくくりました。

8月6日（水）には、テツandトモさんを総合司会に、『“東北魂”大集合!』と題して、スパリゾートハワイアンズのダンスショーや東北の高校生らが披露する郷土芸能などが披露され、熱気あふれる舞台がフェアを大いに盛り上げました!

東北地方の活気や文化、脱原発をめざして続けられている各活動の意気込みが伝わってくるステージに、客席の皆様からも熱い共感の拍手をいただきました。

(各種イベントは、当金庫ホームページから動画でご覧いただけます!)

8月5日(火)

11:00	宮城県ご当地アイドル みちのく仙台「ORI ☆姫隊」ショー
12:00	「フラ ハーラウ ワコ」によるフラダンスショー ～手をつなごう!アロハの心で～
13:00	ひろげよう東南アジアの輪!
14:00	●ベトナムセミナー ●インドネシアセミナー
15:00	シンポジウム「福島の現状と願い」
16:00	●映画上映 ●トークショー ●ミニライブ/加藤登紀子 ほか
17:00	
18:00	

8月6日(水)

11:00	宮城県ご当地アイドル みちのく仙台「ORI ☆姫隊」ショー
12:00	
13:00	東北復興応援イベント “東北魂”大集合!
14:00	●スパリゾートハワイアンズ ●福島県立光南高等学校 ●盛岡信用金庫
15:00	●岩手県立花巻農業高等学校 ●岩手県立北上翔南高等学校
16:00	

8月5日(火)

宮城県ご当地アイドル
みちのく仙台「ORI ☆姫隊」ショー
11時～12時(両日)



復興を祈るオリジナル
ソングなど、澆刺とした
ステージ!



舞台の後は、展示ブースで被災地への
募金活動も。

「フラ ハーラウ ワコ」の皆様によるフラダンスショー
～手をつなごう!アロハの心で～
12時～13時



ひろげよう! 東南アジアの輪 13時~14時半

ベトナムセミナー・インドネシアセミナー



城南信用金庫 ベトナム本部 グエン・タイン・ヴァン氏



舞踏家ティニ・コドラット氏

各国の民族舞踊を通して東南アジアの文化に触れるとともに、日本企業の進出が活発化するベトナムの現状についてグエン・タイン・ヴァン氏より、インドネシアについて舞踏家ティニ・コドラット氏より、ご説明いただきました。



留学生らの披露する東南アジア各地の民族舞踊

シンポジウム 「福島の現状と願い」 15時~18時

短編ドキュメンタリー映画「放射能 レディオアクティブ」(船橋監督『フタバから遠く離れて』のスピノフ作品)の上映に続いて、「福島のいま」「福島への願い」と題したトークプログラムが開催されました。間に加藤登紀子さん・佐藤タイジさんのミニライブを挟み、震災被害の風化や原発再稼働をはじめ、核をめぐる日本の今後と福島のあり方についてシンポジウムを行いました。

第1部 映画上映 ~ 第2部 「福島のいま」



(左から)船橋監督、井戸川前双葉町長、おしどりマコ&ケンさん、吉原理事長

船橋淳監督

井戸川克隆前双葉町長

福島の現状と願い

- <第1部> 映画「放射能 レディオアクティブ」上映
- <第2部> トークプログラム 「福島のいま」
井戸川克隆 (前双葉町長)
おしどりマコ&ケン (芸人)
吉原毅 (城南信用金庫理事長)
[聞き役] 船橋淳 (映画監督)
- <第3部> ミニライブ
加藤登紀子 (歌手)
佐藤タイジ (歌手)
- <第4部> トークプログラム 「福島への願い」
加藤登紀子
佐藤タイジ
佐藤健太 (飯館村NPO)
井戸川克隆
船橋淳
吉原毅
[聞き役] 津田大介 (ジャーナリスト)

◆ 船橋淳監督

「双葉町のドキュメンタリーを撮りたくて、現地でホールボディカウンターを付けながら何mmシーベルトの被曝とか取材を続けていくうちに、問題は数字じゃないことが解ってきた。風評被害や未定のままの一時帰宅時期など、メンタルにかかる負荷が重い。放射性物質汚染対処特措法の中に、『国民の責務』という文言が出てくる。汚したものは国民が責任もって除染しなさいよ、と、そんなバカなことがあっていいだろうか。誰にとっても決して他人事ではない、それをもっと広く伝えたい」

◆ 井戸川克隆前双葉町長

「結局、『安全だ』と主張し続ける東電や原子力保安委員会から情報封鎖を受け、私たちは直接被曝に晒されてしまった。『美味しんぼ』問題は、捏造や誇張でも何でもない事実を描いただけなのに、呼吸被曝などの現状から目を逸らそうとする行政側が慌てて隠そうとしたから話が大きくなった」

◆ おしどりマコ&ケンさん

「知りたい情報を自ら知ろうとする努力が大事。最初は単な

る好奇心だったが、たとえば楽屋では私たち芸人も皆心配して放射能の話題で持ちきりなのに、いざ漫才のステージでは『原発』や『爆発』などを匂わせるような言葉は絶対使わないと釘を刺される。『師匠からもらった第二次世界大戦中の、お国のために死ぬ言うてる国策漫才みたいやな』と驚いて、調べ始めた。東京にいる人だっらずっと被曝しているのに、国は言わない。自分たちが声を上げないと」



おしどりマコ&ケンさん

上映作品を踏まえ、福島と地続きである東京でも原発問題を我が事として意識する姿勢、ほしい情報を手に入れる努力、東電の、企業の、国民の“責任”という能動的な取り組み方について、活発な議論がなされました。会場の外では、船橋監督映画のDVDを買い求める方の姿も目立ちました。

第3部 ミニライブ



佐藤タイジさん&加藤登紀子さん

佐藤タイジさんが岐阜県中津川市のSOLAR BUDOKAN(太陽光発電だけで行う音楽LIVE)の取り組みを紹介、SOLARでし

コーディングした「もういちど世界を変えるのさ」などを、加藤登紀子さんは7月発売の最新アルバムから、未来世代へのメッセージを込めた2曲を披露。

「ありったけの愛」「もういちど世界を変えるのさ」(佐藤タイジ)
「New Revolution」(加藤登紀子&佐藤タイジ)
「愛を耕すものたちよ」(加藤登紀子)

第4部 「福島への願い」

ライブ後のトークプログラムでは、「故郷飯館村の現状を知ってほしい」とツアーを企画したり、組織したNPOから飯館村の情報を継続的に発信している佐藤健太さんと、『ダークツーリズム』が日本で一般的に知られるようになった契機でもあるジャーナリスト津田大介さんのナビゲートを中心に、「3・11の記憶を風化させないこと」、震災や放射能被害を他人事ではなく自分の身に置き換えて実感してほしいと問題意識を喚起する方向で議論は進み、予定時間を30分以上超えて白熱しました。

当初は18歳以下の住民と妊婦のみに自治体から配布予定

だった健康手帳を、佐藤さんたちが全住民に拡大する試みを行った件では、「この手帳

は行政が回収するものでもないし、住民に義務付けられたものでもありませんが、“記録を、記憶を残していく”意義を考えてもらうきっかけになれば」と説明する佐藤さんに、加藤登紀子さんら他の登壇者も力強く同意しました。



(左から)津田大介さん、船橋監督、加藤登紀子さん、佐藤タイジさん、井戸川前双葉町長、佐藤健太さん、吉原理事長



津田大介さん

佐藤健太さん、吉原理事長

ダークツーリズム

2013年の「新語・流行語大賞」にノミネートされ、福島原発の観光地化を提唱する東浩紀さんや津田大介さんを契機に広く知られるようになってきた。チェルノブイリ原発やアウシュヴィッツの強制収容所跡、南京大虐殺など、災害や戦災の痕地を「負の遺産」として観光に活かそうとする試み。チェルノブイリのツアーでは、参加者一人ひとりにガイガーカウンターが渡され、原発30km圏内の立ち入り禁止区域(通称「ゾーン」)を見学する。

8月6日(水)

“東北魂”大集合! 13時~16時

太鼓や剣などの小道具を巧みに操り、大掛かりな装束を着こなして信金職員の方や高校生とは思えない見事な舞踊を披露してくださった皆さんに、司会のテツandトモさんもびっくり! 反面、「めちゃくちゃ格好いいね! 始めようと思ったきっかけは?」とマイクを向けられた途端、真っ赤になって照れる表情には、高校生らしい素顔も覗きました。最後、ステージ上に揃ったメンバーに、会場から惜しみない拍手が贈られました。

舞台から発信されるエネルギーがストレートに胸を打つ清々しいパフォーマンスでフェアを締めくくることができ、本当にありがとうございました!

“東北魂”大集合! 総合司会:テツandトモさん

- **ポリネシアンダンスショー**
スバリゾートハワイアンズ・ダンシングチーム「フラガール」
- **チアリーディング**
福島県立光南高等学校「応援団チアリーダー部」
- **盛岡さんさ踊り**
盛岡信用金庫「さんさ踊り同好会」
- **テツandトモさんのステージパフォーマンス**
- **鹿踊り**
岩手県立花巻農業高等学校「鹿踊部」
- **鬼剣舞**
岩手県立北上翔南高等学校「鬼剣舞部」

◆ポリネシアンダンスショー

スバリゾートハワイアンズ・ダンシングチーム「フラガール」



◆チアリーディング

福島県立光南高等学校「応援団チアリーダー部」



◆盛岡さんさ踊り

盛岡信用金庫「さんさ踊り同好会」



◆テツandトモさん



◆鹿踊り

岩手県立花巻農業高等学校「鹿踊部」



◆鬼剣舞

岩手県立北上翔南高等学校「鬼剣舞部」



● 信ちゃん&ゆるキャラが各所で大活躍!

我らが信ちゃんほか、東北6県から17のご当地キャラ：決め手くん、きてけるくん、スギッチ、なまはげ、サーモンくん・みやこちゃん、そばっち、かむてん、ポチ武者こじゅーろう、ホヤぼーや、むすび丸、あかべえ、キビタン、福馬くん、のまたん、八重たん、ももりんが勢揃いして、地下1階のロビーギャラリーや地下

2階展示ホールの入り口、ブースでお客様をお出迎えしたり、東北エリアで物販をお手伝いしたり、子どもたちとふれあったり、お笑いユニット「みちのくボンガーズ」とフェア場内の特設ステージで楽しいパフォーマンスを披露したり……フェア開催中の2日間、会場内を所狭しと大活躍してくれました!!



あ と が き

みなさん、今年も「2014 “よい仕事おこし”フェア」を無事に終えることができました！ 準備・内覧会も含め猛暑の有楽町で過ごした3日間、本当にお疲れ様でした！

今回の成功も、出展企業の方々のため、東北地方を応援するため、自分のことではなく他の誰かのためにを思いながら、一心に持ち場を守り取組んでくださったみなさんの努力の結果に他なりません。ご協力ありがとうございました。

今年11月開催予定の「信金発！地域発見フェア」をはじめ、今後行われる各種イベントも、みなさんの力を合わせて大成功させ、お取引先、地域のお客様、関係するすべての方々と“夢”と“感動”と“笑顔”を分かち合い、強い絆を育てていきましょう。

